

## ■5月2日

## 全日空、那覇空港、整備会社設立を計画

ANAホールディングスは30日、那覇空港で航空機関連の整備を請け負う新会社を沖縄に設立する計画を明らかにした。航空需要の拡大が見込まれるアジアや国内の市場を視野に2013年度に具体的な展開計画を策定、14年度に段階的に事業を展開し、15年度に本格的に事業を開始する。那覇空港を拠点に展開している国際物流ハブ事業などを踏まえたANAのアジア戦略の一環。

沖縄タイムスによると、ANA広報部は、整備の対象となる機材の種類や整備内容などの詳細については検討中としている。ANAでは現在、羽田と成田で大・中型機、大阪・伊丹で中・小型機の整備を実施中。那覇空港で整備を始めることに伴う事業の統廃合などについても未定としている。

県は13年度から那覇空港内に航空機の整備基地を建設するための調査事業を実施。同空港内での整備事業をめぐることは、JTAも事業の展開案を県に打診している。

(沖縄タイムス)5/1

[http://article.okinawatimes.co.jp/article/2013-05-01\\_48713](http://article.okinawatimes.co.jp/article/2013-05-01_48713) (-> [http://article.okinawatimes.co.jp/article/2013-05-01\\_48713](http://article.okinawatimes.co.jp/article/2013-05-01_48713))

(ANAプレスリリース)4/30

<http://www.anahd.co.jp/pr/201304/20130430-2.html> (-> <http://www.anahd.co.jp/pr/201304/20130430-2.html>)

## 山口宇部空港、2012年、国際線チャーター便好調

山口県交通政策課がまとめた山口宇部空港発着の2012年度の国際チャーター便の利用状況は、運航便数46便、利用者数6290人と、ともに国際チャーター便が初運航した1980年度以降で最高だった。運航便数は11年度比で2・6倍、利用者数は2・3倍に急伸した。中国新聞が報じた。

運航46便のうち、ソウル22便、台北12、済州島4便、ハノイ2便など。アジア4カ国・地域間でチャーター便が組まれた。利用者の内訳は日本人が3748人、外国人が2542人。前年度比で日本人が2倍弱、外国人が3倍強に増加した。

(中国新聞)5/1

<http://www.chugoku-np.co.jp/News/Tn201305020013.html> (-> <http://www.chugoku-np.co.jp/News/Tn201305020013.html>)

## スカイマーク、成田―石垣、神戸―石垣線を新設

スカイマークは1日、7月10日-31日の運航ダイヤを発表した。

その中で、沖縄・石垣島への新路線として、「成田-石垣線」を1日1往復2便、「神戸-石垣線」を1日1往復2便にて運航することを発表した。先に開設を発表した「那覇-石垣線」を1日4往復8便に続き、季節運航便として石垣線を強化する。

神戸新聞によると、同社は、観光需要を見込んでおり「搭乗率を見ながら定期便化を検討したい」としている。

また、同時に羽田からは、那覇空港にて乗り継ぎで利用できる、「羽田-宮古線(乗継便)」を1日2往復4便、「羽田-石垣線(乗継便)」を1日4往復8便に設定したことも併せて発表している。

(スカイマーク プレスリリース)5/1

[http://www.skymark.jp/ja/company/press/130501\\_press\\_schedules.pdf#](http://www.skymark.jp/ja/company/press/130501_press_schedules.pdf#) (->

[http://www.skymark.jp/ja/company/press/130501\\_press\\_schedules.pdf#](http://www.skymark.jp/ja/company/press/130501_press_schedules.pdf#))

(神戸新聞)5/1

<http://www.kobe-np.co.jp/news/keizai/201305/0005946760.shtml> (-> <http://www.kobe-np.co.jp/news/keizai/201305/0005946760.shtml>)

## ボーイング787対応：日航も試験飛行開始

全日空に続き、日航も2日朝、初めての試験飛行が行われた。午前6時すぎ、改修を終えた機体が羽田空港を離陸した。この機体は、東北地方の上空で、2時間かけて新しいバッテリーシステムの電圧などのデータに異常がないか確認し、午前8時ごろに羽田空港に戻る予定。

一方、全日空では1日夜、岡山空港でも改修を終えた機体の試験飛行を行っている。羽田空港までのおよそ1時間10分の間、通常のルートと同じ瀬戸内海や太平洋の上空を飛びながら新しいバッテリーシステムの電圧のデータなどに異常がないか確認した。

なお787型機は、1日までに、全日空が保有する17機のうち4機、日本航空が7機のうち3機で改修を終えている。

(NHKニュース)5/2 5/1

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20130502/k10014318501000.html> (->

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20130502/k10014318501000.html>)

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20130502/k10014316941000.html> (->

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20130502/k10014316941000.html>)

ボーイング787対応:カタール航空、ボーイング社から補償

(ロイターによると)

カタール航空は、バッテリー発火事故で1月から運航停止となっていた米ボーイング787型機について、ボーイングから補償を受けることを明らかにした。

カタール航空のアルバクル最高経営責任者(CEO)は記者団に対し、「運航できない機体が納入されたため、補償を受け取る。ボーイングもその点は理解している」と述べた。

そのうえで、「787型機が運行停止となったことで、カタール航空の業務拡張策は大きな影響を受けた。収支にも影響が出ている」と述べた。

参考: ■航空会社 ボーイング保有状況(引き渡し済み機材50機)

航空会社	引き渡し数	発注数
全日空	17機	66機
日航	7機	45機
ユナイテッド航空	6機	
エア・インディア	6機	
カタール航空	5機	
エチオピア航空	4機	
ラン航空	3機	
ポーランド航空	2機	

(ロイター)5/2

<http://jp.reuters.com/article/businessNews/idJPTJE94001E20130501> (->

<http://jp.reuters.com/article/businessNews/idJPTJE94001E20130501>)

エバー航空、旭川—台北線、6月1日から定期便移行

エバー航空の王振興日本支社長は1日、北海道新聞の取材に対し、2日から週3往復で就航する旭川—台北のチャーター便を、6月1日から国際定期便に移行させる見通しを明らかにした。国土交通省と最終調整中で、王支社長は「5月中には認可される見込みだ」と述べた。

定期便が実現すれば、同路線では復興航空につぎ、台湾と旭川を結ぶ2つ目の路線となる。

同社は現在、新千歳、函館に国際定期便で就航している。使用機材はエアバスA332(252席)。

(北海道新聞)5/2

<http://www.hokkaido-np.co.jp/news/economic/462627.html> (-> <http://www.hokkaido-np.co.jp/news/economic/462627.html>)